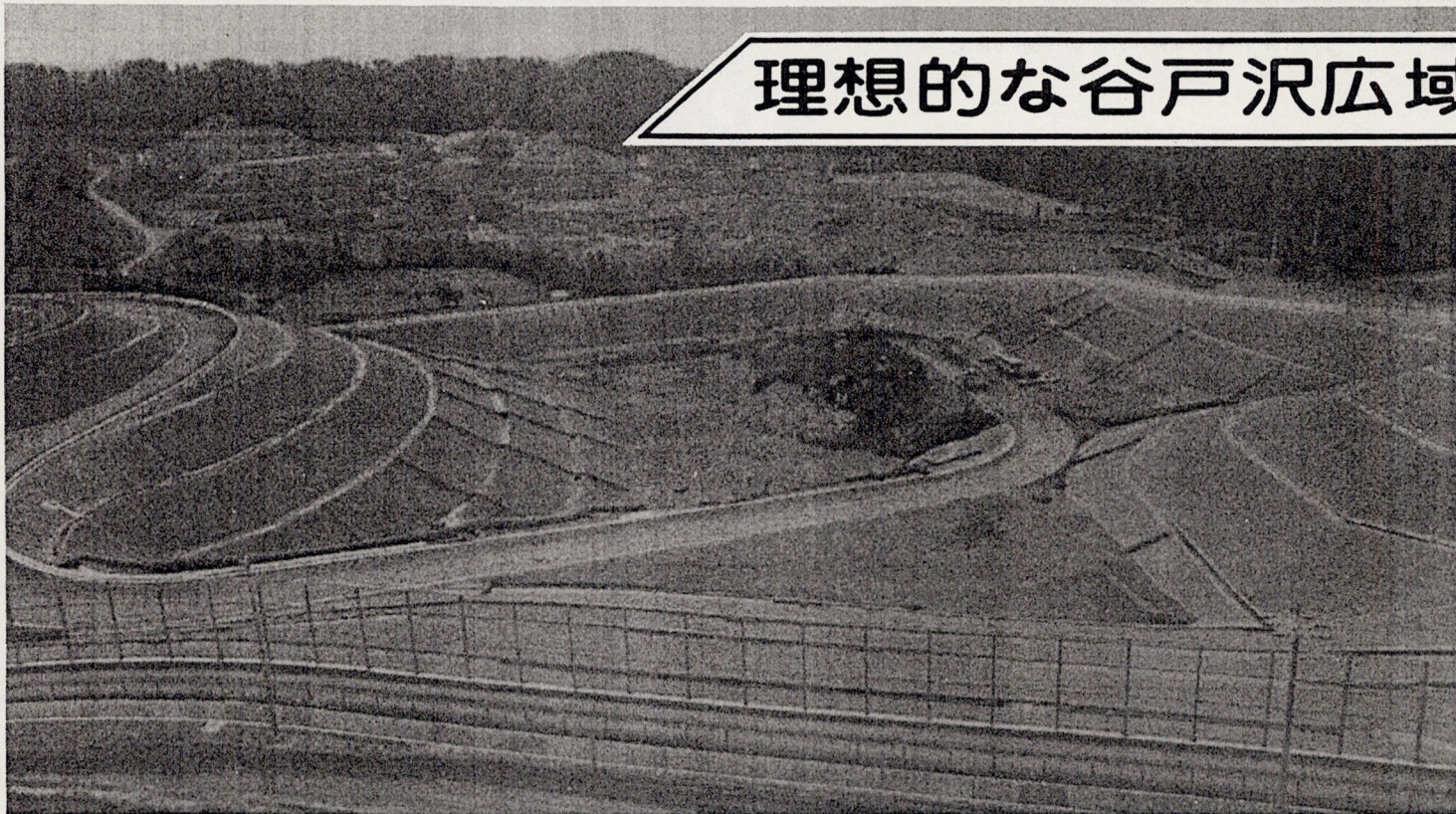


理想的な谷戸沢広域処分場

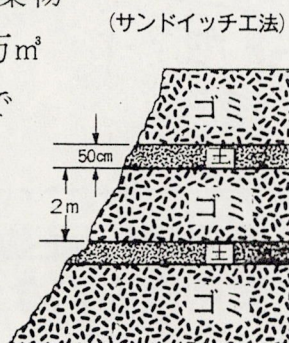
広域処分場が適切な運営のもとに長期使用できるよう、市民の皆様にごみ資源化と減量化並びに乾電池等有害ごみの分別収集の徹底について一層ご協力をお願いします。



この谷戸沢処分場は、三多摩の自治体の共通の課題であった最終処分場確保のため、三多摩25市2町（福生市も加入している）が、昭和55年11月に「東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合」を設立し、当組合の構成団体ではない日の出町と地元住民の深いご理解を得て日の出町谷戸沢に建設するに至りました。

〔全体事業の概要〕

- ①処分場の総面積は、45.3haです（後楽園球場総面積の17倍です）
- 開発面積———31.7ha
 - 埋立地面積———22ha
 - 管理施設帯面積———6ha
 - 搬入道路面積———3.7ha
- 残存緑地面積———13.6ha
- ②埋立容量は、全体で380万 m^3 で廃棄物と履土を交互に施すサンドイッチ工法のため、廃棄物の埋立量は260万 m^3 で履土が120万 m^3 です。（市リサイクルセンターの約66倍の廃棄物の埋立量です）



③受入廃棄物は、当組合の構成団体から発生する一般廃棄物に限定し、清掃工場や破碎処理施設等で前処理した次のものです。

- 可燃ゴミの焼却残渣——約40%
- 破碎処理された不燃ゴミ・焼却不適ゴミ（15cm以内のもの）——約60%

※1日10トントラックで約70台、約520トンの受入があります。

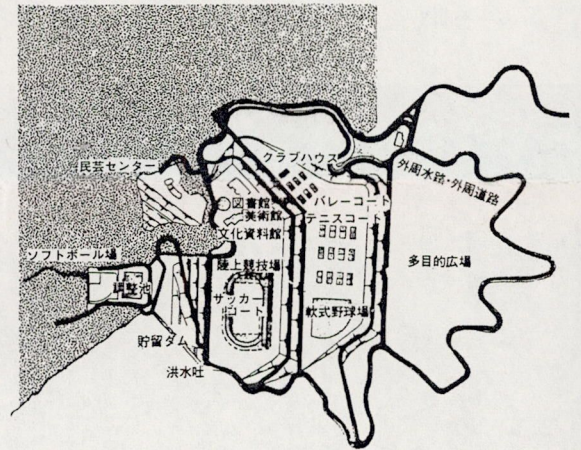
福生市の関係では、西多摩衛生組合の可燃ゴミの焼却残渣が、昭和61年6月から搬入しています。

④処分場の建設は、防災及び環境保全、財政負担の軽減等を考慮し、3期に分けて実施し、埋立期間は昭和59年4月から13年間の予定です。

⑤建設工事費は、用地買収費、補償費等も含め、総額125億円と見込んでいます。

〔環境保全対策〕

①施設の側面から見ると、埋立処分された廃棄物の流出を防止するための貯留ダム、廃棄物に浸透した雨水や微生物の分解によって発生する汚水の地下水混入を防止するための厚さ1.5mmの合成ゴムシートを埋立全域



想定される跡地利用構想

に布設し、それを処理するための浸出液処理施設、開発に伴って増える雨水流出量の調整のための防災調整地などがあります。

②対策の側面から見ると“環境影響評価委員会”を設置し、計画段階から指導をし、また、生活環境への影響把握のため引き続きモニタリング調査を実施しています。

しかしながら、この処分場にも寿命があり、数年後には我々は新たなゴミ問題に直面することは確実であろう。

フォーグス in 福生

Part.1

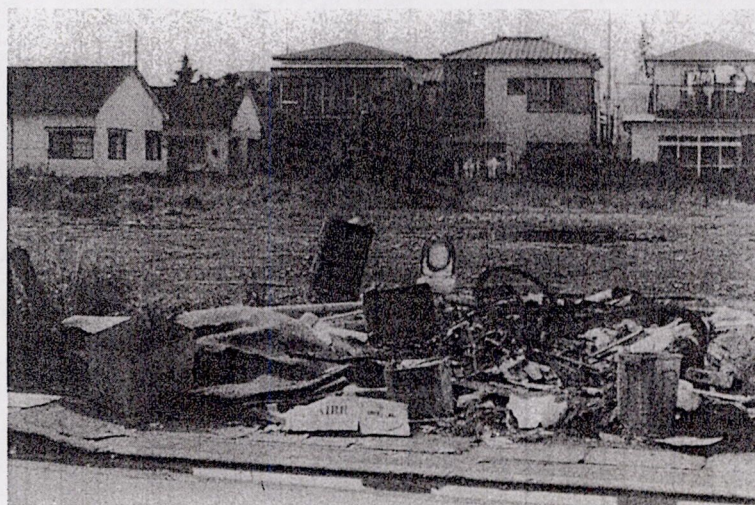
市でかねてからお願いしている「新築・既存の集合住宅（アパート、マンション、貸家等）の専用ゴミ収集所設置」ですが、最近、所有者の御協力により設置していただいていますので、その一例を紹介いたします。

写真の物は、新築二階建の集合住宅です。前面に不法投棄の防止、かつ、犬猫が収集所を荒すのを防ぐための網の扉がついています。



Part.2

市内のある収集所です。空地の一角を収集所にしたのですが、管理する人もいなく、通りに面しているため、自転車などが捨てられてしまったのです。これでは、ゴミの収集所というよりも単なるゴミの捨て場です。点検しましょう。あなたが利用している収集所をもう一度！

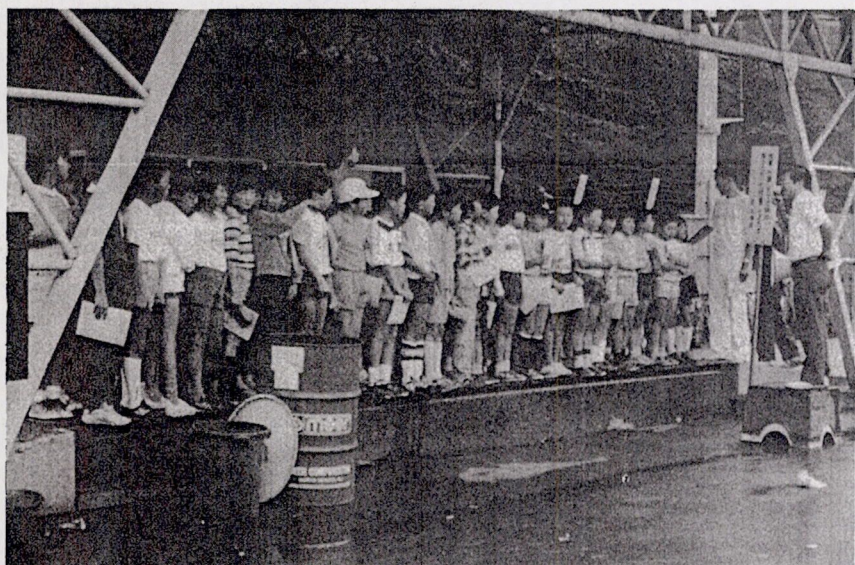


Part.3

ここA場所に不法投棄の連絡があり、すぐに現場へ行くと洗濯機やビニール類が捨てられていました。しかし捨てた人を探し出す手がかりはありませんでした。この場所は玉川上水に沿った小道で武蔵野の面影を残す数少ないところです。ですから今後同じことがないように、みなさんで気をつけましょう。

Part.4

今年も梅雨がやって来た。それとほぼ同時に福生市リサイクルセンターにも小さな訪問者がやって来た。市内の小学4年生である。手にはノートと鉛筆を持ち不思議そうな顔つきでやって来て、大きく澄んだ瞳で生の現状を見て心に何かを焼きつけて行くだろう。



お知らせ

市では、例年夏場（7月21日～8月30日）の時期、市内全域を対象に衛生害虫（ハエ・カなど）の駆除を実施いたします。実施方法については、薬剤散布になりますので各家庭においては、ペット・洗濯物等に充分注意して下さい。